

メインテーマ

*Share the Next Values!*

# 地方の課題を イノベーションで 解決する。

小論文  
募集

グループでの  
応募歓迎!

サブテーマ

次の3つのサブテーマから1つを選択してください。

- ① 震災復興
- ② 地方創生
- ③ 地方の産業改革



募集期間:

【大学生の部】

2017年7月3日(月)

～9月4日(月)

【高校生の部】

2017年7月3日(月)

～9月11日(月)

コンテストホームページ:

[www.nri.com/jp/event/contest](http://www.nri.com/jp/event/contest)

お問い合わせ:

〒194-0022 東京都町田市森野1-34-10  
(スクールパートナーズ内)

「NRI学生小論文コンテスト2017」事務局

E-mail: [contest2017@nri.co.jp](mailto:contest2017@nri.co.jp)



賞:

【大学生の部】

[大賞 1作品] 賞金50万円

[優秀賞 2作品] 賞金25万円

[奨励賞 若干] 賞金5万円

【高校生の部】

[大賞 1作品] 賞金30万円

[優秀賞 2作品] 賞金15万円

[奨励賞 若干] 賞金3万円

最終審査会・表彰式:

2017年12月22日(金)

入賞者発表:

2017年12月22日(金)

## 地方の課題をイノベーションで解決する。

サブテーマ \*次の3つのサブテーマから1つを選択してください。

### ①震災復興 ②地方創生 ③地方の産業改革

高校生・大学生の皆さんは、自身が活躍しているであろう2030年ごろの日本がどのような社会になっていると想像しますか？ 変化が激しく先の予測がつかないこの時代、NRIは皆さんと一緒に、社会をしっかりと見据えながら未来を切り拓いていきたい。この思いから今回の募集テーマを決定しました。“Share the Next Values!”には、皆さんや学校、研究機関、社会の人々と『新たな価値を創造し、ともに分かち合う』という思いを込めています。皆さんの未来に、日本の各地方がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会であることを願っています。

東日本大震災から既に6年が経過、しかし、未だ約12万人の方が避難生活を続けています。昨年は、熊本にも大きな地震が起きました。地震国の日本で、「震災復興」は、継続的に取り組むべき問題です。また、戦後続いた東京への人口一極集中とグローバル化の進展は、地方の労働力の減少や産業の衰退を引き起こしています。政府においても

「地方創生」を重要課題に取り上げ、高齢化・過疎化が進む地方社会の活性化や、農林水産業をはじめとする「地方の産業改革」に向けて、様々な施策が検討されています。

このように日本では、地方ごとに多くの深刻な課題を抱えています。

一方、世界に目を広げると、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、Fintech(フィンテック:金融分野における新技術導入)など、IT(情報技術)を中心とした革新的な技術が、産業や社会を大きく変えようとしています。技術だけでなく、制度や社会の仕組み、ビジネスモデルなどに関しても、従来なかった革新的な考え方や手法(イノベーション)が続々と生まれており、様々な課題を解決する手段として注目されています。

そのような「イノベーション」によって、上で採り上げたような、我が国の地方が直面する課題を解決するアイデアを募集します。

選択したサブテーマに沿って、地方が抱える具体的な課題を採り上げ、それをどのようなイノベーションによって解決に導くかについて、提案してください。皆さんからの斬新な提案をお待ちしています。

### 大学生の部

賞 [大賞 1作品] 賞金50万円 [優秀賞 2作品] 賞金25万円  
[奨励賞 若干] 賞金5万円

応募論文の字数: 4,500~5,000字 (別途400字程度の要約を添付)  
応募資格: 日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校(4~5年)に在籍している学生で、2017年7月2日時点で27歳以下の、**個人または5名までのグループ**(グループ員は、大学生の部、高校生の部の応募資格者のいずれでも可)。

\*大学進学をめざして勉強している大学受験資格を持つ学生の方は、大学生の部にご応募ください。\*日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校(4~5年)、日本語学校に在籍している留学生で、2017年7月2日時点で30歳以下の方は、大学生の部にご応募ください。

### 高校生の部

賞 [大賞 1作品] 賞金30万円 [優秀賞 2作品] 賞金15万円  
[奨励賞 若干] 賞金3万円

応募論文の字数: 2,500~3,000字 (別途200字程度の要約を添付)  
応募資格: 日本国内の高校、高等専門学校(1~3年)に在籍している学生、もしくは日本国内の中学校の3年に在籍している学生で、2017年7月2日時点で20歳以下の、**個人または5名までのグループ**(グループ員は、高校生の部の応募資格者に限る)。

### [応募の際の注意点]

- ご応募いただく論文は、日本語で執筆された、自作で未発表のものに限りです。
- 「コンテストホームページ」にある「応募用紙」をご使用ください。
- 論文の中で、他の著作物を引用する場合は、その箇所を明記するとともに、論文の最後に出所を記載してください。
- 論文に独自タイトル、要約がないものは審査対象外になります。
- 図表中の文字、および図表のタイトル、注釈や、参考文献一覧は、字数に含まれません。なお、図表の数は5つ以内としてください。
- 審査を通過して最終審査に残った方は、2017年12月22日(金)の**最終審査会**で**プレゼンテーション**をしていただくことになります。(グループで参加した場合は、1名以上の参加が必要)
- 最終審査会のプレゼンテーションの映像の内容を確認した上で、YouTubeで公開する予定です。
- 応募論文の著作権は、野村総合研究所に属することをご承知ください。
- NRIグループ社員の家族は応募できません。

### 募集期間

【大学生の部】2017年7月3日(月)~9月4日(月)

【高校生の部】2017年7月3日(月)~9月11日(月)

- オンライン送信の場合は、締め切り日当日24時までの事務局での受信が有効
- 郵送の場合は、【大学生の部】は2017年9月4日(月)までの消印有効、【高校生の部】は2017年9月11日(月)までの消印有効

### [応募方法]

下記の「コンテストホームページ」でテーマ詳細や応募要項を確認の上、「応募用紙」をダウンロードし、必要事項と論文(本文、要約)を記入して、以下のいずれかの方法でお送りください。

Ⓐ「コンテストホームページ」の応募画面からオンラインで送信

Ⓑ CD-Rに保存の上、下記、コンテスト事務局に郵送(CD-Rは返却いたしません)(WORDファイルだけでなく、PDFでの保存も可)

### [審査方法]

野村総合研究所社員による1次審査の後、未来創発センター長の桑津浩太郎研究理事を委員長、ジャーナリスト、名城大学教授、東京工業大学特命教授の池上彰氏、ノンフィクションライターの最相葉月氏を特別審査委員、社員数名を委員とする審査委員会による論文審査を行い、最後に論文審査を通過した方による**プレゼンテーション**で受賞を決定します。

\*論文審査を通過した方には、**プレゼンテーション審査用の資料**をご用意していただく必要があります。



特別審査委員  
ジャーナリスト  
名城大学教授  
東京工業大学特命教授  
池上 彰 氏



特別審査委員  
ノンフィクションライター  
最相 葉月 氏

### [最終審査会・表彰式]

2017年12月22日(金)に最終審査会および表彰式を東京で開催します。

### [入賞者発表]

2017年12月22日(金)に奨励賞を含む入賞者を「コンテストホームページ」で発表します。

\*入賞者の氏名・学校名・学年、および入賞した論文のタイトルを公表させていただきます。ご了承ください。

「コンテストホームページ」

[www.nri.com/jp/event/contest](http://www.nri.com/jp/event/contest)

